

令和6年度以降に取り組む施策などについて 第1～4回ワーキングチーム意見要旨

回	意見 要旨	意見から繋がる取組み（第4回メンバー意見要旨）
第1回	<p>○活字では情報が得られない。</p> <p>○城下町では手話が通じないため、コミュニケーションが取れなく寂しい。</p> <p>○筆談ボードを設置しているお店がない。</p> <p>○手話ができなくても誰もがコミュニケーションが取れる地域になってほしい。</p> <p>○点字メニューのあるお店が増えてほしい。</p> <p>○声かけサポーター養成講座（静岡県が実施している）を犬山でも開催してほしい。</p> <p>○子どもからの発信で家庭に広まることもある。</p> <p>○いろんな事業が始まっているなかで新たな取組みをすぐに始めることは難しい。</p>	<p>○コミュニケーションボード設置 ※福祉課など公共施設や関係団体から実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input type="checkbox"/> 令和7年度以降 →R5中に犬山市役所（福祉課、総合受付）と犬山しろひがし商業協同組合（キャスト）で試験的に実施していく。</p> <p>○声かけサポーター養成講座の開催 ※実施方法は検討が必要 <input type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input checked="" type="checkbox"/> 令和7年度以降 →R6中に講座内容を固めて試験的に実施していく。 福祉実践教室とのコラボや名古屋経済大学の学生向けに実施するなど対象者や方法を検討していく。</p> <p>○情報が取得しやすい環境（市や企業HPなど）整備 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input type="checkbox"/> 令和7年度以降 →適宜必要な情報発信をしつつ、関係機関や企業に対しても働きかけをしていく。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントの使用・普及啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input type="checkbox"/> 令和7年度以降 →まずは福祉課障害者担当作成文書において、積極的にユニバーサルデザインフォントを使用していく。 庁内においてもユニバーサルデザインフォントの周知をすすめていくとともに、音声読み上げソフトやQRコードなどの活用も検討し情報が取得しやすい環境整備にもつなげていく。</p>
第2回	<p>○市ホームページなどで音声により情報を取得する場合、自分の知りたい情報にたどりつくまでに時間がかかる。</p> <p>○点字や点図などが広まってほしい。</p> <p>○フォントをかえるだけでも読みやすくなる。（ユニバーサルデザインフォント）</p> <p>○指文字から馴染める機会があると良い。</p> <p>○取組みを通じてボランティア同士が繋がっていくと良い。</p> <p>○市ホームページでバリアフリーの施設がわかるなど情報発信があると良い。</p>	<p>○配慮の取組みがわかるステッカーの配布 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input type="checkbox"/> 令和7年度以降 →筆談ボードを設置（市から配付予定）した事業者に対してステッカーを配布する取組みを実施していく。 配慮に対する取組みをした際にかかった費用を補助する事業が必要では？ （R7年度以降への課題として共有）</p> <p>○多世代に向けた体験の機会の提供 ※福祉実践教室（社会福祉協議会）の実施 ※園児向けに指文字かるた遊びの導入 <input type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input checked="" type="checkbox"/> 令和7年度以降 →既存の取組みに対してコラボする形での実施を検討していく。</p>
第3回	<p>○筆談でやりとりすると目が合わなくて寂しい気持ちがある。</p> <p>○読み聞かせする機会に手話などの普及ができると良い。</p> <p>○公共施設にコミュニケーションボードを設置してほしい。</p> <p>○3Dプリンターで作成した触ってわかるようなものがあると良い。（例：犬山城や明治村などの観光施設）</p>	<p>○理解促進のための講演会開催 ※一般市民・中高生向けの公演 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input type="checkbox"/> 令和7年度以降 →条例制定の記念講演としてR6については開催に向け進めていく。 「手話は言語」ということの周知を継続的に行う必要があることから毎年定例で開催する。 （みみの日など）</p> <p>○市主催イベントでの手話通訳・要約筆記の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input type="checkbox"/> 令和7年度以降 →実施に関するルールが必要。</p> <p>○読み聞かせイベントの開催 ※ボランティアサークルのコラボ <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年度実施 <input type="checkbox"/> 令和7年度以降 →小学校にきている読み聞かせのボランティア（個人）とコラボしていくことができるのでは？ （学校に配置されている司書と調整が必要）</p>